

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



令和3年10月18日発行

【令和3年度学校経営の重点】

「和顔愛語 笑顔溢れる栄小学校」

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

**「あたり前のことが
あたり前にできる 栄っ子」**

秋の再拡大防止特別対策の実施について

校長 塩田直之

日々の検温や健康観察の実施など、新型コロナウイルス感染症の予防的措置に対し、多大なるご理解・ご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、9月末日をもって北海道における緊急事態宣言が解除になりましたが、引き続き10月末日まで「秋の再拡大防止特別対策」が講じられているところであります。

これらのことを踏まえ、本校においては、3密の回避やマスクの適切な着用、こまめな手洗いの励行、定期的な換気、飛沫を飛ばさないような席の配置、給食時間における原則として会話を控えることなどの新型コロナウイルス感染症対策を継続する中で教育活動を円滑に進めているところです。

今後につきましても、ご家庭のご理解・ご協力を賜りながら、新型コロナウイルス感染症対策を進めていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

よく学び、よく遊べ！修学旅行を大いに楽しむ！

10月1日（金）～2日（土）保護者や関係の皆様のご協力を得て、修学旅行（ウポポイ、マリパークニクス、ルスツリゾート）を実施することができました。

前日の集会で校長から6年生に対して「『よく学び、よく遊べ』という諺があるように、ウポポイやマリパークニクスにおいては学習を深め、ルスツリゾートにおいては大いに楽しみ、思い出深い修学旅行にしてほしい」ということを伝えました。

洞爺湖が見えたらその美しさに感動し、ルスツリゾートが見えたらジェットコースターの高さに驚き、イルカショーでイルカが飛び跳ねたら歓声が上がり大きな拍手が沸き起こるなど、修学旅行を大いに楽しむ姿が数多く見られました。その一方、ウポポイではアイヌの人々の歴史や文化等に関する展示物をじっくりと見て、その解説内容を必死にメモする姿が数多く見られました。

今回の修学旅行で体調不良者もなく、集合時間に遅れてくる者もないなど、修学旅行の目標を達成しようとする6年生の意気込みを感じました。そして、修学旅行を楽しもうとする6年生の姿に頼もしさを感じました。解散式で校長から6年生に対して、これらの取組のよさを褒めるとともに、卒業まで残り5ヶ月半となった学校生活において、次のことを大切にしてほしいという話をしました。

- ・学習発表会に向けて、みんなで一つのものを創（つく）り上げる喜びを感じてほしい。
- ・中学校進学を見据え、苦手な教科に対してもあきらめずに粘り強く取り組んでほしい。



「えっ？」という驚きがあり、歓声上がる45分間！

10月7日（木）帯広市清掃事業課の協力の下、4年生を対象におびひろ市民学「地域の環境を知ろう」を実施しました。

帯広市清掃事業課の方々より、ごみの分別やリサイクルなどについてのご説明をいただきました。その中で「1リットルの牛乳パックが5つ集まると、トイレトペーパー1個分になるんだよ」という話を聞いた瞬間に「えっ！そうなの？すごい！」と驚いたり、ごみの分別などに関するクイズで正解するたびに歓声が上がったり、ガッツポーズで喜んだりする4年生の姿を見て、その素直さと感性の豊かさに魅力を感じました。

帯広市清掃事業課の皆様にご心より感謝申し上げます。



とても楽しかった！また、お話を聞きたい！

10月11日（月）3年生を対象に本校の保護者である黒沼哲也さんを講師とした社会科の授業を実施しました。

3年生の社会科では「市役所や図書館、消防署、警察署など主な公共施設の場所と働きについて」学習することになっています。

今回は、消防署の働きなどについて、クイズに答えたり、画像を見て驚いたりしながら、3年生は目を輝かせ、意欲的に学習していました。

授業終了後には「とても楽しかったので、また、お話を聞きたい。」「消防署でどのような仕事をしているのかがわかってとても楽しかった。」などの感想が寄せられています。

黒沼さんのお力添えにご心より感謝申し上げます。



学習発表会に向けて、頑張る子どもたちの姿に感動！

11月12日（金）開催の学習発表会まで、あと3週間となりました。学習発表会に向けて、子どもたちは一生懸命に練習に励んでいます。

学習発表会のねらいは、「子どもたち一人一人がいきいきと活躍し、自分の成長を実感する」ことです。

このようなねらいの下、学習発表会に向けた取組を進めていますが、「今日うまくできた！」と言って喜ぶ姿や休み時間になっても黙々とリコーダーの練習を続ける姿など、子どもたちの頑張る姿に感動しています。

学習発表会に向けて、みんなで一つのを創り上げる喜びも感じてほしいと思っています。



端末を活用して、思考力や表現力等を高める！

本年4月より、全国の小・中学校等において、児童生徒1人に1台の端末が提供されています。本校においては、漢字の読み書きや計算力等を高めるために「デジタルドリル」を日常的に活用するとともに、思考力や表現力等を高めるために「ジャムボード（付箋のようなもの）」や「スプレッドシート（一人一人の考えがリアルタイムでわかるもの）」などを授業の目的に応じて活用しています。ただし、それらの活用にあたっては、端末の使用を必要最小限にするなど、健康に最大限配慮しながら端末を使用しています。



